



# 新年のご挨拶

社徳島県宅地建物取引業協会 会長 出口 建 夫

新年あけましておめでとうございます。

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

会員の皆様には、日頃より協会の運営にご理解を賜り、ご支援とご協力に心からの感謝を申し上げます。次第です。

平成24年、辰年の新しい年が始まりました。

すべての人が明るく元気な毎日をと願っての出発であります。自然の大きな力の前に人々の生活が一瞬に破壊され、自然が示した厳しい試練の年が過ぎて、新しい年の元旦は本当に穏やかな一日がありました。

東北の被災された人々の一日も早い復興を願いながら、徳島に生活する私たちは、いつもと変わらない平穏な日々感謝し、今年も人とのつながりを大事に頑張りたいものです。

懸案でありました公益社団法人への移行認定申請ですが、平成20年12月1日の法施行から3年余の時間が過ぎ、この間いろいろと検討や準備を重ねた結果、昨年11月に徳島県文書課に届出を済ませました。全国47都道府県の公益認定申請状況のなかで12番目の申請でありました。本年度末頃には申請結果の知らせが届くものと理解しています。公益法人については新しい制度の下において、不動産業の社会的信用を高め、

民間による社会全体の利益の増進を図る公益的活動に貢献するという全宅連・全宅保証協会の決議に基づいて宅地建物取引業の取引の公正確保を図るとともに協会会員皆様への各種事業の実施、不動産流通情報の円滑な提供等の活動を引き続き実施してまいります。

また、駐車場用地の確保の件については、検討を続けてきた万代町5丁目の現在の協会所在地の近くで約855㎡の土地について平成24年1月11日に売買契約の締結を済ませました。会員皆様、協会をご利用いただく皆様にはこれまで大変なご不便をおかけしました。今後の用地の利用につきましては、次への新しい一歩と考え、皆様のご意見をいただきながら具体化してまいります。徳島県宅建協会は設立後、大勢の先輩皆様に多大な貢献をしていただきました。心からの感謝を申し上げますとともに、これからも皆様のご指導を心からお願い申し上げます。

本年も全宅連・全宅保証協会や会員皆様と一体となって消費者の利益の擁護、住生活の向上を目指し各種事業を展開していく所存です。

最後に会員皆様のますますのご活躍とご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。